



春里中学校

学校だより 令和6年度 6月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

学校教育目標

自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

いじめを許さない集団づくりを

校長 小倉 弘一

さいたま市教育委員会の調べによると、小中学生が新しい環境に慣れてくる6月は、一年間の中で特にいじめが発生する率が高い時期だそうです。

そのため、さいたま市では、平成26年度から6月をいじめ撲滅強化月間としており、各学校でも様々な取組を行います。本校でも学年で共通の題材を使った道徳の授業を実施したり、生徒会本部が中心となっていじめ撲滅に関する取組を実施したりします。

さて、こんな実話を知っていますか？

2007年にカナダの高校で男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことを、ホモセクシャルだとからかわれ周囲から暴行を受けました。その事実を聞いたデイヴィッド君とトラヴィス君は、いじめを止めさせようと動きました。自らピンク色の服を買いこみ、学校の掲示板やメール等を通じてクラスメイトたちに「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と呼びかけました。翌朝、共感した多くの生徒たちが、ピンクシャツを着て登校しました。リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。全身にピンク色をまとった生徒もいました。二人の意思は一夜のうちに広まっていたのです。二人が呼びかけた人数より遙か多く、数百人もの生徒たちがピンク色のものを身につけて登校してきたことで、その日、学校中がピンク色に染まりました。

いじめられた生徒は、ピンク色を身につけた生徒たちであふれる学校の様子を見て、安堵の表情を浮かべていたそうです。それ以来、その学校でいじめはなくなりました。

いじめに対して、学生たちは言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がったのでした。

彼らが起こした行動が地元メディアで取り上げられると、瞬く間にカナダ全土のみならず、世界へと広がっていきました。この行動がきっかけとなり、現在、カナダでは毎年2月最終水曜日をピンクシャツデーとし、この日、学校・企業・個人を含めた賛同者がピンクシャツを着て「いじめ反対」のメッセージを送っているとのことです。（「日本ピンクシャツデー」公式サイトより一部抜粋）



本校の学校ホームページの「今週の1枚」のコーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。

